

メルマガ全部協プライムニュース

2017年4月号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
 - 1) 第15回経営組織委員会
 - 2) 第17回事業運営・情報専門合同委員会
 - 3) 第13回編集委員会
- 4, 支部・ブロック協議会活動報告
 - 1) 「福岡県自動車部品商組合理事会」開催(3月10日)
 - 2) 「全九部総会」開催(3月11日)
 - 3) 「近畿ブロック協議会」開催(4月1日)
 - 4) 「京都府自動車部品商組合」総会開催(4月14日)
- 5, 統計情報
 - 自動車販売統計
 - 整備工場統計
- 6, 事務局からのお知らせ
 - 1) 総代会のお知らせ

- 2) マツダパーツとの懇談会
- 3) いすゞ純正互換品番キャンペーン終了
- 4) Skype による WEB 会議導入
- 5) IAAE2017 開催と来場者数
- 6) あっせん販売商品の紹介
- 7) 「共同購買サイト」掲載商品
- 8) 「共同購買サイト」の“お知らせ”から
- 7, 全部協会議・活動日程
- 8, メルマガ配信アドレス登録お願い
- 9, 付録
 - 1) リパーツダイレクトの広告
 - 2) PB 商品の広告
 - 3) その他の広告リンク
 - ・ショーワグローブ株式会社

1 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

- イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。
- ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を
発信します。
- ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

2 「オートモーティブプライムニュース」とは

- イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。
- ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。
- ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して
参ります。
- ニ、<希望を募り「無料」で>組合員・賛助会員へ配送します。
- ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

1) 第 15 回経営組織委員会

全部協は第 15 回経営組織委員会を平成 29 年 3 月 23 日（木）11 時 15 分から、全部協（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 組合員同士の吸収合併及び組合員の加入・脱退承認について
- (2) 基礎統計・取引実態調査アンケート集計結果
- (3) マツダパーツとの懇談会報告
- (4) 売掛債権保証会社との打合せ
- (5) 平成 28 年度収支見込みと平成 29 年度事業計画について
- (6) 経産省（組合員企業の資本金及び常時使用する従業員数等）の調査
- (7) 次年度理事会・委員会開催日程について
- (8) 第 4 回通常総代会開催方法について
- (9) 訪米視察ツアー計画（案）概要説明
- (10) 「WEB 共通互換品番検索システム」データ入力委託契約について
- (11) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1, 組合員同士の吸収合併及び組合員の加入・脱退承認について

「事務局から以下が報告され次回理事会に諮ることになりました。

1) 合併する組合員

以下の組合員 2 社は合併し合併後神姫産業(株)が事業を継承します。

届出は平成 29 年 1 月 1 日付けです。

- ・ 神姫産業(株) 兵庫県神戸市
- ・ (株)大陽商会 兵庫県明石市

2) 新たに加える組合員

次の企業は組合員の資格を有していることから加入を認めることとなります。次回理事会（4/20）で正式に承認される予定です。

・（有）大和サービス 沖縄県沖縄市 代表者名 仲田知加 氏

加入申込期日 平成 29 年 1 月 26 日

3) 脱退する組合員

以下の組合員から脱退の予告が出され、平成 29 年 3 月末で脱退します。

・（有）神宮部品商会 宮崎県宮崎市 代表者 松元昭則 氏

・ 同和自動車部品（有） 宮崎県都城市 代表者 谷ヶ久保博美 氏

2. 基礎統計・取引実態調査アンケート集計結果

平成 28 年度の基礎統計・取引実態調査の集計結果（Draft）を事務局から報告しました。

1) ダイジェスト版について

組合員の年間総売上高の項目のコメント欄について、実態とかけ離れている値になっているとして、一部削除することになりました。

2) 集計結果報告書

データの詳細を記載した報告書の内容については、集計方式を従来と変えていないことから、トレンドを診るために変更を加えない事です承されました。

前言として掲載する挨拶文を加えて、次回理事会（4月20日開催予定）で承認を得た上で、全組合員へ配布されます。配布は4月21日以降を予定しています。

3. マツダパーツとの懇談会報告

マツダパーツとの懇談会の報告を担当委員（取引改善専門部会）から行いました。

1) 日 時 平成 29 年 3 月 21 日（火）13 時 20 分-15 時 00 分

2) 場 所 マツダパーツ本社（広島市） 会議室

3) 会談内容

マツダパーツの新社長とは初めての面談でした。主に業界の一般情勢について意見交換し、全部協から懸案事項の積極的取り組みを申し入れました。

交わされた意見交換の項目は以下のとおりです。詳細は省略します。

- ①自動車業界の流れ
- ②補修部品流通の集約化とコストとの関わり
- ③全部協からの要望
 - ・ パーツセンターの対応改善
 - ・ 基本取引契約書からの連帯保証人の削除
 - ・ 購入代金の決済方式の見直し
 - ・ 債権保証会社の採用
- ④全部協（上野）との継続協議確認

4. 売掛債権保証会社との打合せ

純正販社との売掛債権（債務）を担保するための保証金に代わる手段として、債権保証会社を利用する方法があります。一部の組合員が、実際に顧客との売掛債権リスクをこの方法で担保していることから、当委員会でその保証会社から説明を聴きました。

1) 各種債権の未回収リスクを保証

売掛債権や請負債権、金融債権、返還請求権など企業間取引で発生する様々な信用リスクを「保証」し、倒産等による債務不履行の際の保証を行います。企業間取引における信用リスクをヘッジするサービスを提供します。

2) 高度な審査力

財務諸表によらない定性的な情報に基づき審査を行います。既に契約している全国各地の新たな契約先、あるいはリスク移転先である金融機関等からの情報を審査情報として活用しています。これらをデータベース化し、倒産確率を算出して信用リスクの価格設定を行います。

3) 債権保証手数料

一例では、実績料率は保証金額に対して、月利で0.18%-0.2%になります（年率で2.0-2.4%）。ただし、保証額は保証会社の査定によりますので、売掛債権の満額とはならない場合があります。

4) 純正販社との取引への適用

この方式を純正販社に照会し、採用を働きかけることが当委員会で話し合われました。具体的には、各社との懇談会で、この方式について検討をお願いしていくこととなります。

5. 平成 28 年度収支見込みと平成 29 年度事業計画について

事務局から、平成 28 年度収支見込みと、次年度（平成 29 年度）の事業計画（素案）が照会され、概ね了承されました。

1) 平成 28 年度収支見込み（平成 29 年度 2 月末現在での見込）

収入の部の合計 69,097 千円

支出の部合計 65,349 千円（法人税等を除く）

収支差計 3,748 千円

収支差の主な要因として以下の説明がありました。

①団体協約事業費用減 1,400 千円（対計画比）

純正販社との懇談会を 3 社予定していましたが、内 2 社は 4 月以降のずれ込んだことにより 1 社のみになる予定です。

②教育・情報事業費用減 8,540 千円（対計画比）

全国でブロック協議会開催、及び、講演会開催を 11 箇所で開催していましたが、2 ブロックの協議会と、会計セミナー 2 回のみになる予定です。

③人件費減 3,660 千円（対計画比）

事務局職員退職（1 人）に伴うものです。

④事業収益減

イ、教育研修事業として繰越金 9,000 千円を予定していましたが、今年度行っていないので収入とせず、繰り越しを次年度へ延期することにいたします。

ロ、福利厚生事業としての団体保険収入が 2,200 千円減少しています。等々。

2) 平成 29 年度の事業計画（案）について

収益事業の柱である、団体保険事業と共同購買事業の具体的振興策の

議論が求められるところですが、意見が奮わず具体策を煮詰めるまでには至りませんでした。また、そのための各地域・ブロックでの講演・普及・教育活動についても具体的な提案が無く、次回理事会までの懸案となりました。

新たな取り組みとしては、ETCのセットアップ事業者に関する事業を加えることを確認しました。

6. 経産省（組合員企業の資本金及び常時使用する従業員数等）の調査

平成29年2月24日を期限とした経産省から指示された調査に、まだ、約2割弱の組合員から回答していないことが報告されました。

これへの対応について委員間で確認し、支部、ブロック協議会、地域の部品商組合、及び、総代を通して、回答を促すことになりました。

回答いただけない組合員企業について、経産省にどの様に報告するかは、理事会に諮り審議する予定です。

7. 次年度理事会・委員会開催日程について

次年度の委員会と理事会の開催日程について、事務局から提案され、以下について概ね了承されました。

4月20日（木）	第31回定例理事会
6月22日（木）	第4回通常総代会
7月12日（水）	第8回正副理事長会議
7月20日（木）	第16回経営組織委員会
7月21日（金）	第18回事業運営委員会
8月4日（金）	第32回定例理事会
9月13日（水）	第19回事業運営委員会
9月14日（木）	第17回経営組織委員会
10月20日（金）	第33回定例理事会（地方理事会として松本市で開催）
11月9日（木）	第20回事業運営委員会
12月6日（水）	第21回事業運営委員会（両委員会の合同忘年会実施）
12月7日（木）	第18回経営組織委員会
1月18日（木）	第9回正副理事長会議
1月26日（金）	第34回定例理事会
2月16日（金）	第22回事業運営委員会
3月14日（水）	第19回経営組織委員会
3月15日（木）	第23回事業運営委員会

4月19日（木） 第35回定例理事会

6月22日（金） 第5回通常総代会（役員改選）

8. 第4回通常総代会開催メニューについて

今度の6月22日開催の総代会の開催メニューについて確認されました。

1) 全部協講演会

外部講師を招聘し、自動車の自動運転技術が及ぼす自動車の進歩と補修部品市場への影響などの講演をお願いすることが、話し合われました。

概ね方向性は可となりましたが、具体的にどの様な人に講演をお願いするかは、意見が出されず、事務局にて各方面に打診しながら次回理事会までに報告することになっています。

2) 展示会

昨年の展示会は、出展者から不満が多くありました。総代会の時間割との関係から多くの時間に訪問者が少なく、空き時間となってしまうことが指摘されていました。

訪問者を増やす方策を含め、開催要否について確認することになっています。次回理事会までに事務局にて意見を集約して整理する予定です。

9. 訪米視察ツアー計画（案）概要説明

昨年延期した訪米計画について、今年の1月開催の第30回理事会において、自動車関連のイベントに合わせ、米国の業界関係先を訪問することが話し合われています。その具体的方法について、ツアー会社からの提案をもとに意見交換を行いました。

経営組織委員会としては、以下の二つの提案の中から、自動車の先進的な技術情報をつぶさに観ることが出来る、家電見本市「コンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES）」に合わせた提案を推奨することになりました。

1) 家電見本市「コンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES）」に合わせた提案

米国で毎年1月に開催される、家電見本市に合わせた6日間のツアーの提案です。これに合わせ、米国の自動車部品事業者の施設を訪問する計画になります。

<CES の概要>

CES2017 を主催する全米民生技術協会 (Consumer Technology Association : CTA) による前年度 (CES 2016) の開催実績は、来場者総数が過去最多となる 17 万 7,393 人でした。うち海外からは世界 158 カ国から 5 万 3,808 人が、日本からは 2,641 人が来場しました。展示面積は 247 万平方フィート、出展社数は 3,887 社、報道関係者は 7,545 人。

CES テーマとしては自動車や AI に関心が集まります。毎年の目玉になる開幕直前の基調講演は、AI、自動運転、VR、ゲーミングなどの分野における最新情報が語られます。

2017 年は、中国ファーウェイからコンシューマ・ビジネス・グループ CEO のリチャード・ユー氏、日産自動車 会長兼 CEO のカルロス・ゴーン氏、1 月 6 日には米クアルコム CEO のスティーブ・モレンコフ氏などの基調講演が予定されていました。

2) 北米国際自動車ショー

(North American International Auto Show, NAIAS) に合わせた訪問

これも、米国で毎年 1 月に開催される国際オートショーに合わせた 6 日間のツアーの提案です。

<NAIAS の概要>

北米国際オートショーは、アメリカ合衆国・デトロイトで、毎年 1 月に開催される国際自動車展示会、世界 5 大モーターショー※の一つ。

※世界 5 大モーターショー

- ・東京モーターショー (TMS、日本・東京)
- ・フランクフルトモーターショー (IAA、ドイツ・フランクフルト)
- ・北米国際オートショー (NAIAS、アメリカ・デトロイト)
- ・ジュネーブモーターショー (Salon International de l'Auto スイス・ジュネーブ)
- ・パリモーターショー (Mondial de l'Automobile フランス・パリ)

全部協の固有の情報資産である「WEB 共通互換品番検索システム」は、地域部品商ばかりでなく、リサイクル事業者や、中古部品取り扱い事業者、及び、純正部品取り扱い販売会社にも注目されています。

自動車メーカー間で多角的業務提携が進み、クルマの OEM 化や部品の共通化が進む中、ますます全部協の「WEB 共通互換品番検索システム」が、補修部品業界の中で重要性を増しています。

事業運営委員会では、この「WEB 共通互換品番検索システム」に、より新しい情報を多く取り入れ、かつ、信頼性を高めたシステムにしていくため、部品商業経験者（OB）と委託契約を結び、互換データの新規入力点数増加を積極的に図ることにしました。

今回の経営組織委員会においてこれを了承し、次年度から実施に移すことを確認しました。

11. その他

1) 機関誌紙面発行1周年アンケート照会

機関誌「オートモーティブプライムニュース」が発行から1年を迎えるに当たり、読者にアンケートを行いました。その結果報告を事務局から行いました。

本件は、機関誌「オートモーティブプライムニュース」やメルマガでも取り上げ報告していることから詳細は省略します。

2) 「共同購買サイト」改善と費用について

事業運営委員会では「共同購買サイト」の改良を進めています。

その予算措置について、WEB 会議形式により事業運営委員会（情報専門部会）の担当者の出席により、報告を行っています。

当委員会において、改良方法とその予算額が概ね了承されました。

最終的には次回事業運営委員会（経営組織委員会の翌日の3月24日）において、改良スペックと予算額の最終確認を行います。

3) (株)自動車新聞社からの申し入れについて

自動車新聞社から、組合員向けに全部協の「共同購買サイト」上で月刊雑誌「アフターマーケット」を販売する提案が事務局にありました。

全部協の「共同購買サイト」に年間購読クーポンを載せ、それを販売する提案です。これを受託することを当委員会において了承しました。

4) IAAE2017 来場者数報告

事務局から IAAE2017 来場者数報告が資料配付により行われました。

2) 第 17 回事業運営・情報専門合同委員会

全部協は第 17 回事業運営委員会を平成 29 年 3 月 24 日（金）11 時 15 分から、全部協（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) I T S サービス高度化機構へ事業者申請
- (2) 「共同購買サイト」改造の予算とスケジュールについて
- (3) B L の P M . N S との連携（「Z E N - b u k y o モール」）
- (4) 基礎統計・取引実態調査結果について（経営組織委員会を参照、略）
- (5) 次年度委員会開催計画について（経営組織委員会を参照、略）
- (6) 総代会開催準備について（経営組織委員会を参照、略）
- (7) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. I T S サービス高度化機構へ事業者申請

全部協が E T C 2.0（E T C 含む）の登録事業者になるための条件を確認するために、2 月 17 日に I T S サービス高度化機構（I T S - T E A）を訪問し、申請書の様式を受け取り、記載する事項と要点について指導を受けています。

事務局で申請書作成を進めるに具体的に確認を行う事項が出てきたことから、再度 I T S - T E A を訪問して打ち合わせしました。

打合せで確認し、申請時に記載が求められた事項は以下のとおりです。

- (1) E T C の普及を始めて既に 10 年以上経った今になって申請する理由
- (2) E T C が行き渡った状況下で利用拡大を図る具体的方策
- (3) 既存の事業者（全国で約 300 社）で十分な中、他と差別化できる特徴ある独自展開方法
- (4) 組合員 465 社の内、新たにセットアップ店になる組合員店舗数

(組合員の多くは既にセットアップ店になっている)

(5) 団体として ETC 車載器を独自調達して組合員へ供給する方法

(6) 新たなセットアップ登録店(組合員)への教育指導体制とその方法

この中の、「新たにセットアップ店になる組合員店舗数」を、

事業運営委員会で具体的に地域別に調べることを確認しました。

2, 「共同購買サイト」改造の予算とスケジュールについて

「共同購買サイト」を利用者に親しみやすく改造することについては、過去の委員会です承されています。今回の委員会では、改造委託会社に発注する金額と作業スケジュールについて確認しました

1) 発注金額と発注内容について

予め確認済の改造予算に、スマホでログインし商品管理を行えるアプリを加えることを報告し承されました。なお、予算の妥当性を診るために、相見積もり金額が照会されました。

2) 改造スケジュール等について

改造に発注後約2ヶ月要します。4月に着手して6月以降に完了することを確認しました。次回理事会(4月20日)で予算と共に了承を得る予定です。

3, BLのPM.NSとの連携(「ZEN-bukyoモール」)

情報専門部会の委員からブロードリーフ社(BL)へ「共同購買サイト」とPM.NSとの連携を提案し、BLに受け入れられたことが報告されました。

PM.NSの業務メニュー画面の「お知らせ通知」に、「共同購買サイト」のロゴを掲載する提案です。

「共同購買サイト」のロゴは「ZEN-bukyoモール」とする提案も行われ、そのデザインと共に了承されました。

改造後、「共同購買サイト」は「ZEN-bukyoモール」に改称されることとなります。

4, その他

1) Skype利用の会議結果について

経営組織委員会(3月23日開催)で行ったWEB会議テストの状況から、3-4名参加によりSkypeで会議を行うに、特に支障は

無い事を事務局から報告しました。WEB会議に参加した情報専門部会のメンバー（2人）からも、同様の見解が示されました。

事務局で準備するWEB会議用機材としてマイク、スピーカー及びカメラのセットを想定しています。テストの状況から、集音マイクの性能とカメラの解像度がポイントになります。機材選定ではこれらを確認し手配することになりました。

2) 互換の年間報賞決定とシステム開発功労者表彰について

①互換の年間報賞決定について

昨年末開催の第15回事業運営委員会において「WEB共通互換品番検索システム」の年間報賞は次の様に贈られることが決められています。

◎報賞金として1位5万円、2位3万円が贈られます

◎報賞受賞者の旅費（総代会への出席旅費の実費）を組合で負担します

データ入力に協力いただいた拠点から年間累積ポイントで順位を決定します。その上位2社を決める手順を確認しました。

ちなみに、入力ポイントは純正→互換純正は10ポイント/件、純正→互換優良は1ポイント/件です。キャンペーンとして行ったいすゞ純正→互換純正は20ポイント/件としてカウントします。

②システム開発功労者表彰について

「WEB共通互換品番検索システム」は組合員への利用普及面において確実に組合員に浸透し、事業収益面からも全部協に多大な功績を挙げています。これを踏まえ、事業運営委員会として、このシステム開発発案者である委員会のメンバーを、今度の総代会で顕彰する提案を行うことを確認しました。

次回理事会（4/20）に具体的な顕彰方法を諮り決めることとなります。

3) 「共同購買事業」及び「あっせん販売事業」の手数料収入実績報告

平成28年度の手数料収入の実績報告が資料により事務局から行われました（詳細省略）。

3) 第13回編集委員会

全部協は第13回編集委員会を平成29年3月29日(金)10時から、全部協会議室(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 第7号(5月号)の紙面割り確認
- (2) 第6号(3月号)の紙面記事内容について
- (3) 配送部数確認
- (4) 広告募集状況
- (5) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 第7号(5月号)の紙面割り確認

第7号の紙面構成の紙面割り案について意見交換しました。

【1、2、3面】

時期のホットな話題から(検討中)

1、2、3面は期近になってから具体的に決めることにしました。

【4面】

ボッシュの整備工場と車と繋ぐテレマティクスなど

【5面】

(連載)メカニカルレポート[第7回]、プリウス関係の情報掲載

【6面】

IAAEの実施結果を含めたイベントレポート

【7面】

いすゞのテレマティクス

積載量を検知し中古車としての査定に活かす方向です。トラックでの需要は見込めるとみています。ドライブレコーダーは保険にも使われます。また、運送業界では運行管理に適用しているようです。等など。

【8面】

時事ネタと、(連載)ビジネスマナー(メールのマナー)、イベント情報

2, 記事の題材として

今後注目されそうな記事として以下のことについて意見交換しました。

- 1) 国交省のトラックのトン数の新たな区分けと運送業界での認識のずれ
- 2) 国の自動運転への取り組みについて

経産省、国交省で実証実験を行っています。それぞれのホームページから関係資料をダウンロードして編集委員に配布しました。

- ・自動走行ビジネス検討会「自動走行の実現に向けた取り組み方針」
(要旨)
- ・経済産業省、国土交通省 平成 28 年度スマートモビリティシステム
研究開発・実証事業
- ・国土交通省自動運転戦略本部議事要旨 (第 1 回)
自動運転を巡る動き
- ・国土交通省自動運転戦略本部における検討事項 (案)
車両に関する国際的な技術基準等
中山間地域における道の駅を拠点とした自動運転サービス

3, 配送部数確認

同一県で社長が同じ組合員企業から、部数の変更の申し入れがありました。また、4 月以降脱退する組合員があるのでその分減少することになります。脱退する組合員企業は、5 社。新たに加える企業は 2 社 (沖縄と長崎) の予定です。

4, 広告募集状況

整備工場を読者のターゲットとしていることから、オイル、タイヤ、バッテリーなどの商材から広告主を探すことを検討しています。その中から今回はタイヤを取り上げて活動する予定です。日本国内でのシェアを拡げつつあるアジアタイヤメーカーに広告掲載を主に働きかけてまいります。

5, アンケート結果について

事務局から先のアンケート結果の報告をおこないました。概ね好評でしたが、主な回答が部品商と卸問屋であることから、その分差し引いてみる必要があるようです。

中身として、部品商が直接客先から声を拾ってきているものについては、

参考になる部分が多く見受けられます。特にディーゼルエンジン関係（DPF関係）と大型自動車関係の情報が欲しいとの要望は他から得られなかった回答でした。

6, その他

- 1) 次回委員会開催予定日
4月17日（月）に予定します。
- 2) メルマガ4月号の発行時期
4月11日（火）に予定します。

4 | 支部・ブロック協議会活動報告

- 1) 「福岡県自動車部品商組合理事会」開催（3月10日）
- 2) 「全九部総会」開催（3月11日）
- 3) 「近畿ブロック協議会」開催（4月1日）
- 4) 「京都府自動車部品商組合」総会開催（4月14日）

上記につきましては
添付のPDFデータ「01_sbkyougikai.pdf」をご覧ください。

5 | 統計情報

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001179333.pdf>

優良認定工場数（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001179334.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2017年3月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 URL

2017年3月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/index.html>

6 | 事務局からのお知らせ

1. 総代会のお知らせ

第4回通常総代会の開催について、予めご案内します。正式には5月に入りましたら、全ての総代の皆さんに開催通知（郵送）にてご案内します。

開催日 平成29年6月22日（木）

場 所 ホテルラングウッド

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5、電話03-3803-1234

<開催メニュー>

- (1) 総代会 13時から（受け付け開始12時30分から）
- (2) 全部協講演会 15時15分-17時00分（受け付け開始14時45分から）
※外部講師の講演を調整中です。
- (3) 懇親会 17時30分-19時00分（受け付け開始17時00分から）

2. マツダパーツとの懇談会

全部協では、経営組織委員会（取引改善専門部会）メンバーを中心にしてマツダパーツ株式会社と懇談会を行いました。

<開催日時と場所>

3月21日（火）13:30-15:00 マツダパーツ(株) 広島本社にて

<参加メンバー>

マツダパーツ：社長、専務、常務、取締役、部長、マネージャー
全部協：理事長、副理事長（2名）、理事（1名）、
担当委員（1名）、事務局（2名）

<会談内容>

マツダパーツの新社長とは初めての面談となります。主に業界の一般情勢とWG（実務者会議）での懸案事項について意見交換を行いました。詳しくは、ホームページの組合員ルームに掲載している懇談会記録でご確認ください。

- （1）自動車業界の流れ
- （2）補修部品流通の集約化とコストとの関わり
- （3）全部協からの要望・・・WG 懸案事項の改善推進を重ねて要望しました
- （4）全部協（上野）との継続協議確認・・・WG を継続することになりました

※スズキ(株)、本田技研工業(株)にも、申し入れしていますが、開催時期は未定です。

3、いすゞ純正互換品番キャンペーン終了

「WEB 共通互換品番検索システム」のデーター入力促進を図る企画として行っていた、いすゞ純正互換品番の登録（入力）キャンペーンが、3月31日をもって終了しました。

期間中（1月-3月）の入力件数は、合計で1,920件、内762件/1拠点が最高でした。キャンペーン中の該当データーのポイントは通常の倍の20ポイント/件としてカウントされます。この間の入力ランキングは、平成28年度第4四半期報賞として後日発表される予定です。

4、SkypeによるWEB会議導入

全部協では、今年に入ってから委員会の会議でWEB会議の試験を行っています。

無料の通信ソフト Skype を利用するWEB会議ですが、予め時間を予約して会議の議題に関係する組合員を呼び出し、当該委員会に参加していただく方法です。

先の委員会（経営組織委員会と事業運営委員会）で実用に適うことが確認され、これからの委員会にWEB会議を取り入れていくことになりました。

事務局に、WEB会議用機材としてマイク、スピーカー及びカメラのセットを

準備いたします。

多忙でフルタイムで参加できないメンバーや、関係する議題のみに出席を求めたい組合員などに、時間を有効に使うことができる、WEB会議の利用を呼びかけていくこととなります。

5. IAAE2017 開催と来場者数

東京ビッグサイト 西3・4ホールで2017年3月15日(水) -17日(金)に開催された IAAE2017 来場者をご案内します。組合員皆様のご来場に感謝申し上げます。

(1) 延べ人数 35,195名(前回、34,395名)

(2) 登録者数(実数) 13,573名(前回、12,606名)

※延べ人数：出入り口のカウンター数

登録者数(実数)：受付で名刺をいただいた数

6. あっせん販売商品の紹介

全部協(事業運営委員会)では、各種商品販売のあっせんを行っています。現在のあっせん販売商品をご紹介します。全て組合員ルームに掲載しています。

1) 補修用ガラス

生駒商事(株)

(株) ビッグウェーブ

の自動車補修用ガラスを取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_h_glass.html

2) 輸入タイヤ

(株) ハンコックタイヤジャパン

(株) ビッグウェーブ(オートウェイループ)

の輸入タイヤを取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_i_Tire.html

3) リサイクル部品

(株) ビッグウェーブ(リパーツダイレクトシステム)

(株) OSS 司(リビルド製品)

を取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_recycle.html

4) 車輻部品検索システム

(株) アペックス

の車両・部品検索システム「アテナ (ATNA)」を取り扱っています。

1) Windows パソコン用「アテナ (ATNA)」

2) タブレット端末用「アテナ (ATNA)」 Android 版、iOS 版

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_atna.html

5) 高品位尿素水

有限会社マイコーポレーションの AdBlue (R) (高品位尿素水)

を取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_adblue.html

7, 「共同購買サイト」掲載商品

全部協の「共同購買サイト」には以下の商品を掲載しています。

サイトの URL=<http://zenbk.com/members/login>

共同購買マニュアル「Let's get started!」vol.13 (2013.11.27)

も合わせて参照ください(「共同購買サイト」のお知らせにあります)。

- (1) e-分岐タップ (2) 間仕切り透明カーテン (3) バンパー
- (4) フェンダー (5) ボンネット (6) ヘッドランプ
- (7) クリアランスランプ (8) サイドマーカーランプ
- (9) テールランプ (10) 知恵袋 (11) P/Sギヤボックス
- (12) 触媒 (13) マニュアルミッション (14) パワステポンプ
- (15) ダイナモ (16) セルモーター (17) スノーテックス
- (18) WAVE BOX (19) ラ・クール (20) バイザー
- (21) ショーワグローブ (22) ETC (23) ワイパー
- (24) タイヤ補修用品 (25) ブレーキパッド
- (26) GE 製自動車用バルブ (電球) (NEW)

8, 「共同購買サイト」の“お知らせ”から

「共同購買サイト」トップページの「お知らせ」に以下の記事が掲載されています。ここから、各種商品の案内と注文様式をダウンロード出来ます。

- 1) GE 製バルブデーターシート (NEW)

- 2) PM システムでのマスター設定マニュアル
- 3) AdBlue (R) あっせん販売案内と注文様式
- 4) フラットワイパーブレード販売開始!! (価格表・適合車種表)
- 5) PB ブランド軽自動車用ブレーキパッド販売開始 (適合表・価格表)
- 6) ZEN-ERiC ワイパーリフィール適合車種表
- 7) タイヤ用品・補修用品販売開始 ((株)フリーマタイヤサプライズ)
- 8) ワイパーリフィール・アソート 100 本 FAX 注文書(pdf 版)
- 9) ワイパーリフィール販売開始!! (価格一覧・互換表)
- 10) TOYOTA ナンバーフレーム一覧 2015 年 8 月現在
- 11) 全部協からの補修用自動車ガラスあっせん販売
- 12) 全部協からの輸入タイヤ販売あっせん開始の案内
- 13) ショーワグローブ製品 (6/27 新規チラシ追加版)
- 14) ETC 車載器【全部協会員特価】 早いものガチ!
- 15) 間仕切りエコ・カーテン by (株)大成部品
- 16) キャンピング用品 by (株)コイズミ
- 17) シーズン到来?【SnowTex】by (株)コイズミ
- 18) 約 4,000 点【リビルド製品】by OSS 司
- 19) YBP 商品一覧はこちら (PDF 全部協売価入り)
- 20) YBP 商品一覧はこちら (Excel 資料)
- 21) みんなの知恵袋! (OEM 車両編) →便利!!
- 22) e-分岐タップのチラシはこちら!

7 | 全部協会議・活動日程

全部協会議・活動日程につきましては
添付の PDF データ「02_h29kaigi-yotei-nenkan-04.pdf」をご覧ください。

8 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の

配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL : http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html

賛助会員 URL : http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

9 | 付録

1) リパーツダイレクトの広告

添付の PDF データ「03_bwr.d.pdf」をご覧ください。

2) PB 商品の広告

添付の PDF データ「04_PBpr.pdf」をご覧ください。

3) その他の広告リンク

ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局（ジェイシーレゾナンス内）

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F

TEL : 03-5565-1642 FAX : 03-5565-6909

E-mail : primenews@jc-resonance.co.jp

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局